



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

平成30年2月13日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第190号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

湖北小学校で Abi-キャリアを活用した授業を実施したうなー！

2/5（月）に湖北小学校の1年生が、Abi-キャリアを活用した授業を実施しました。Abi☆小中一貫カリキュラムを活用して距離の離れた小中学校を、中学校区を基本の単位として繋ぐために、昨年度から教務主任が中心となって計画を立て授業を実施しています。平成31年度の全市展開スタートを最初の目標として、これからも準備を進めていきます。

湖北小学校で Abi-キャリアを活用した授業を実施しました！

☆目指す15歳の子ども像

「確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども」



○今回の授業（キャリア教育）でつけさせたい力

「コミュニケーション力」

1年生が、国語科の「きいたことを正しくつたえよう」の学習を実施しました。小学1年生の国語科の学習で、この内容はこれまでも実施していますが、Abi-キャリアを活用することによって、小学1年生から中学3年生までの繋がりを意識して、キャリア教育の観点で学ぶことができます。



1年生達は、これから実施する予定の園児との交流会に向けて準備を進めています。園児にわかりやすく小学校の様子を伝えるために、子ども達は6つのポイントを意識して伝える練習をしました。



発表の内容を自己評価したり、班の友達に評価してもらえるように工夫して伝えたり、子ども達は意欲的に発表の練習に取り組むことができました。

上手な話し方6つのポイント「あいうえおか」！

- ① いての目を見て
- ② そがずゆっくり
- ③ しろまで聞こえる声で
- ④ がおで気持ちを込めて
- ⑤ おわりまではっきり
- ⑥ かんたんな言葉で

「カリキュラムで繋ぐ」取り組みは見えにくいものですが、我孫子市の目指す小中一貫教育の中心です。

小中学校の教員が、「Abi☆小中一貫カリキュラム」を活用し、ねらいや子ども像を共有して同じ方向に向かって子ども達の指導にあたること。そして、子ども達の生きる力を効果的に育むこと。それが小中一貫教育の目的うなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成30年2月13日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第189号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

今年度も「小中一貫の日」を実施したうなー！  
実施したぜー！



小学6年生が  
中学校に登校！



保護者も参観！

今年度も、1/30(火)に「小中一貫の日」を実施しました。  
 「小中一貫の日」は市内の全小学校の6年生児童と中学校の生徒及び小中学校の教職員が一斉に交流できる日として、年に一回実施しています。中学校区ごとに計画を立案し、特色のある交流活動を実施しました。  
 また、中学校の新入生保護者説明会を同時に開催し、その流れで小中一貫の日の活動を保護者が参観している中学校区もありました。(昨年度までの様子はTSUNAGU108号、150号で紹介しています。)  
 ※今年度は、インフルエンザの流行等の影響により実施できなかった学校もありますので、中学校区単位ではなく、活動内容ごとに児童生徒の様子を紹介します。

各中区ごとに、特色のある小中交流活動を実施しました！

中学生の姿に憧れを持つ小学生！

小中学生の交流！



中学生と小学生が交流しました！



中学生が小学生に中学校の様子を説明しました！



中学校の先生と小学生が交流しました！



中学生の合唱の様子を小学生が参観しました！



部活動見学や部活動体験！



見学だけではなく体験もさせてもらい、小学生にとって貴重な体験になりました！

## 参観者の感想の一部を紹介します！

※この感想は一部です。これから、全体の感想を取りまとめ、次年度に生かしていきます。

### 児童生徒の感想

- 先輩達が優しくすごい力を持っていることがわかり、中学校へ行くことが楽しみになりました。(小)
- 中学校を「怖いな」と思っていた人が、少しでも「入学するのが楽しみになった」と思ってくれるとうれしいです。(中)
- 部活の体験や見学をして、中学校の活動の内容がよくわかりました。先輩達は優しく声をかけてくれて、とても安心感がありました。中学生になって、小中一貫の日に参加する時は、私も優しく小学生に声をかけたいと思いました。(小)
- 来年度の新生と触れ合うことで、先輩という意識を強く持つようになり「手本にならなければ！」という刺激を受けました。(中)
- 最初に先輩達が歌を歌ってくれて、とてもきれいで、すごく印象に残りました。中学生になったら先輩達のようにかっこよくなりたいです。(小)



### 教職員の感想

- 中学校の様子がわかり、子ども達にとっても教員にとっても有意義でした。(小)
- 子ども達が未来の後輩に、優しく教えている姿を見ることができ有意義でした。(中)
- 事前に教務主任同士が連絡を取り合い計画を練りました。中学校の先生が計画のたたき台を作ってくれたため、動きやすく助かりました。(小)
- 今年は、インフルエンザ等の流行により実施はできませんでしたが、中学校の教員と小学校の教員が協力して交流授業の計画を立てることができました。事前の会議を持つことで、共通理解、仕事分担をしっかりと行うことができました。(中)
- 中学校のきびきびとした行動、気持ちのよい挨拶や返事は小学生にも身に付けさせたいと思いました。中学校での指導の実態を知り、小学校での指導に生かしたいと思いました。(小)
- 小学生の子ども達の活動の様子を見て、来年度の指導のイメージを持つことができ有意義でした。(中)



### 保護者の感想

- 生徒が活動する様子を参観した後に保護者説明会となる流れがとてもよいと感じました。更に、授業や部活動も参観できて、とても充実した時間となりました。
- 入学前にこのような機会があつてよかったです。小学生が英語の授業を体験している様子を見ることができて、とても有意義でした。



今年度の「小中一貫の日」の成果と課題を洗い出し、よりよい活動となるように工夫して、次年度以降も着実に実施していくうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

平成30年1月18日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第188号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなきちさん」



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

新年を迎え、気持ちを新たに、そして着実に小中一貫教育の推進を続けるうなー！

1/15(月)に、並木小学校でAbi-キャリアの授業を実施し、その様子を並木小の教員や根戸小学校の教員が参観し、授業後に協議会を開催しました。

これまで、距離の離れた小中学校をAbi☆小中一貫カリキュラムを活用して繋ぐ取り組みを、市の小中一貫教育推進の柱の1つに据えて実施してきました。そして、これからも平成31年度の全市展開スタートに向けて、カリキュラムの活用と授業の実施を継続していきます。

並木小学校でAbi-キャリアを活用した授業を実施しました！

☆目指す15歳の子ども像

「確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども」



○今回の授業(キャリア教育)でつけさせたい力

「課題発見力」、「コミュニケーション力」

5年生のクラスで、家庭科の「じょうずに使おうお金と物」の学習を実施しました。家庭科の授業は、小学校の高学年から、どの小学校でも実施しています。今回の授業は、いつも通りの家庭科の授業をキャリア教育の観点で実施することにより、小中学校の繋がりを意識し、目指す15歳の子ども像の育成を目指すものです。



子ども達は、4種類の消しゴムのどれかを選んで購入する際に、どの消しゴムをどのような観点で選んだらよいのかを考えました。消しゴムを選ぶ理由を考えた後は、ワークシートに記載したり、グループの友達と意見を交流させたりしました。

子ども達は、多様な考え方に触れ、目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について気付いたり考えを深めたりすることができました。

参観者の感想を紹介します！

○今日の家庭科の学習で学んだことが実生活に生かされて、自分が買い物をする場面に出会った時によりよい選択ができるようになればよいと思いました。



○Abi-キャリアの指導案通りではなく、並木小の子ども達の実態や授業者の思いに合わせて授業の仕方を工夫していました。よりよいものを創り上げ、中学校区独自のキャリア教育の学び方を共通理解できるとよいと思いました。

Abi☆小中一貫カリキュラムの活用を通して、距離の離れた小中学校の9年間の学びや子ども達の成長を繋ぎます。

平成31年度の全市展開に向けて、着実に準備を続けます。また、それ以降も続く小中一貫教育を目指すうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年11月29日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第187号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

我孫子市の小中一貫教育の目指すものを再確認し、教務主任が中心となって、全市展開の準備を進めているうなー！

現在、平成31年度の小中一貫教育全市展開のスタートを目指し、実践と準備を進めています。  
さて、学習指導要領に準拠した教育活動の範囲内で、より効果的に我孫子市の子ども達の生きる力を育成するために、各小中学校の各教職員は様々な手法を用いて様々な角度から、そして組織一丸となって教育活動を実施しています。  
我孫子市では、平成25年度より、その様々な教育の手法の中の1つとして「小中一貫教育」の活用を選択し、我孫子の教育の中心施策として推進を続けてきました。



(教務主任研修会)  
※グランドデザイン作成のための話し合いの様子

<我孫子市が小中一貫教育という手法を用いることによって>

各小中学校が中学校区を基本のまとまりとして、15歳の子ども像を共有し、9年間の系統的な指導を行うことができます。

<小中一貫教育を実施する際の具体策>

- ◎市内小中学校に共通したカリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」を活用して、距離の離れた小中学校を繋ぐ。 **【重点①：Abi☆小中一貫カリキュラムの実施】**
- ◎小中学校の教育活動に関する計画を、中学校区を基本のまとまりとして見やすく描いてデザイン化し、教職員が目的や指導方法を共有しやすくしたり、保護者や地域の方がその地域の学校でどのような教育活動が行われているのかを把握しやすくしたりする。 **【重点②：グランドデザインの作成】**
- 各中学校区の独自性を生かした、小中学生の交流活動を行う。
- 各中学校区で学び方や学習の進め方、生活のルール等を統一したり共通理解を図ったりする。
- 市内小中学校教職員の研修により交流を行う。
- 地域との連携を密にした教育活動を実施する。 等々

我孫子市の目指す子どもを育成！

これまで、小中一貫教育の実施のために、上記のような活動を着実に推進してきました。特に、◎印2点を、我孫子市の小中一貫教育推進のための重点とし、重点を具現化するために、市内小中学校の教務主任が中心となって計画立案から実施までの活動を進めています。

グランドデザインは、教職員、保護者、地域の方々が、そのデザインを見た時に、その地域の小中学校でどのような教育活動が行われているのか、小中学校の教育活動にどのような繋がりがあるのか等が、一見して理解できることを目標として、中学校区ごとに作成します。将来的には、市や各校のホームページ上にグランドデザインを掲載し、我孫子市の小中学校の教育活動を、教職員だけではなく保護者や地域の方に小中一貫教育の観点でわかりやすくPRしていく予定うなー。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年11月29日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第186号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

湖北中区の小中学校が Abi-キャリアを活用して繋がったうなー！

11/14（火）に新木小学校で、11/21（火）に湖北中学校で、キャリア教育に関する授業を実施しました。今回は、過去に湖北中区の小中学校で実施した Abi-キャリアの学習内容との繋がりを意識してご紹介します。

確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども

湖北中学校 TSUNAGU166号  
「夢にかける橋（道徳・中3）」 7/12（水）

- 【目標】
  - ・自らを見つめ直し、価値のある生き方を求めて自分の人生を切り開こうとする態度を育てる。
- 【子ども達の感想の一部】
  - 夢を曖昧な考えで捨てることなく、実現するために必要なことを考え勉強することが大切と思いました。



「人はなぜはたらくのか：職場体験事前学習（総合・中2）」 7/10（月）

- 【目標】
  - ・働くことの意義について深く考え、自己の将来に結び付けて考える力をつける。
  - ・働くことの意義について、友達と話し合い考える力をつける。
- 【子ども達の感想の一部】
  - 好きなことを仕事に選び、人のために働くことで、達成感が得られると思いました。



「比例と反比例（数学・中1）」  
湖北中の1年生が、数学の「比例と反比例」の学習を行いました。この内容は、子ども達は小学校でも学んでいます。中学校では、小学校で学んだ基本をもとに、更に発展的な学習を行います。今回は、「封筒を開封せずに、中に入った生徒達が書いた感想用紙の枚数を確かめるにはどうすればよいか」という学習課題に対して、生徒達は自分の考えを書いたりグループで話し合ったりホワイトボードにまとめたりし、比例の考え方が日常生活の中で活用できることに気付きました。



新木小学校 11/7（火）TSUNAGU182号  
「夢・仕事・自分 未来花を咲かせよう（総合・小6）」

- 【目標】
  - ・自分達が調べた職業について、模造紙にまとめたり掲示物を作成したりクイズ形式の発表方法を用いたりして、わかりやすく発表する力をつける。
  - ・友達が発表した内容を真剣に聴いたり必要と判断した内容をノートにメモをしたり発表に対して感想を言ったりする力をつける。
- 【子ども達の感想の一部】
  - 公務員の仕事には、警察官や消防士や教師等の種類があり、どの職種の人達も市民のことを考えて働いてくれています。
  - グラフを使ったり、クイズ形式でみんなに問いかけたりしていたグループの発表がわかりやすく感じました。



湖北小学校 9/4（月）  
TSUNAGU172号  
「友達やクラスのために、自分ができるとは何だろう（小3）」

- 【目標】
  - ・友達と協力して活動し、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを伝えたりする力をつける。
  - ・仕事を最後までやり遂げる力をつける。
  - ・工夫できるところ等を自分達で見つける。
- 【子ども達の感想の一部】
  - 係活動は、自分ができるところを増やしたり、できなかったことをできるようにしたりするために必要だと思いました。



「めざせ！町はかせ ～たんけん はっけん わたしたちの新木～」（小2）

新木小の2年生が、生活科の学習で町たんけんを実施しました。今回の学習では、町たんけんを通して心に残った場所や出来事、そこで働く人について調べたことを、グループごとにまとめて発表し、友達に伝えました。また、聞き手は、友達の発表をよく聴いて友達に、発表の仕方についてアドバイスをすることができました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

平成29年11月20日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第185号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター  
「ふさだーだしお」

湖北台中区の小中学校が Abi-ふるさとを活用して繋がったうなー！

11/15（水）に湖北台東小学校で、Abi-ふるさとを活用した授業を実施しました。今回は、過去に湖北台中区の小中学校で実施した Abi-ふるさとの学習内容との繋がりを意識してご紹介します。

ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子ども

湖北台中学校（中1） 10/20（金） TSUNAGU180号

「杉村楚人冠（ジャーナリスト）」から学ぶ！

【子ども達の意見】

- 杉村楚人冠は、新聞界に新しい仕組みを取り入れたり、若手を育てたりして、記者としてだけではなく日本全体のために業績を残した人であることがわかりました。
- 授業を通して、改めて我孫子の魅力を見つめることができ、我孫子にはたくさんの魅力があることがわかりました。

「志賀直哉（小説の神様）」から学ぶ！

【子ども達の意見】

- 偉大な小説家が我孫子に魅せられて移り住んだことを知り、我孫子はすごいところだということがわかりました。
- 我孫子の魅力は、手賀沼をはじめとした豊かな自然だと思いました。



子どもの郷土愛を育成

湖北台東小 11/15（水）（小6）

「嘉納治五郎（柔道の父）」から学ぶ！

【子ども達の意見】

- 嘉納治五郎さんは、オリンピックを日本に招致することにより、日本人にスポーツのよさを伝え夢を持ってほしいと願ったのだと思います。
- 我孫子市に、嘉納治五郎さんのようなすごい人を知り、びっくりしました。また、そのような我孫子を誇りに思います。
- 目標に向かって努力すれば、夢はかなうということがわかりました。



10/18（水）

「飯泉喜雄（我孫子駅開設者）」から学ぶ！（小5）

【子ども達の意見】 TSUNAGU180号

- 飯泉喜雄さんは、もっと我孫子市を便利で住みよい場所にするために私財を投げ打って我孫子駅の開設に力を尽くした人ということがわかりました。
- 飯泉喜雄さんは、積極的で人の役に立とうと努力できる人だということがわかりました。私も、人の役に立てる人になりたいです。



湖北台西小（小6） 10/20（金）

「田口静（赤ひげ先生）」から学ぶ！

【子ども達の意見】 TSUNAGU180号

- 田口静さんは、湖北地区出身の医者であり、困っている人には無料で診察したり、学校医として子ども達にも人気があったりと、人々から尊敬されていたことがわかりました。
- 田口静さんは、1人1人に優しく接し、自分のできることを全て行おうとして、人の幸せを願うすごい人であることがわかりました。





# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

平成29年11月20日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第184号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 我孫子中区の小中学校が Abi-キャリアを活用して繋がったうなー！

11/14（火）に我孫子第三小学校で、キャリア教育に関する授業を実施しました。今回は、過去に我孫子中区の小中学校で実施した Abi-キャリアの学習内容との繋がりを意識してご紹介します。

### 確かな学力を身に付け、夢を持ちチャレンジする子ども

#### 我孫子中

中3「高校説明会」 9/21（木）TSUNAGU174号  
中2「進路について考える学習」 7/13（木）TSUNAGU168号、169号

##### 【目標】

- ・進路の選択を通して、将来の職業について考える。（課題発見力）

##### 【内容】

我孫子中では、中学2年生の時に、先輩高校生から話を聴く等、進路への関心を高める活動も行っていきます。今回は、様々な高校から高校の教員を招き、高校生活に関する説明を聴きました。

中1「働く大人講話会」 9/21（木）TSUNAGU174号  
「職場体験学習」 7/6（木）TSUNAGU165号

##### 【目標】

- ・職場体験を通して様々な人と良好な関係を築く。（コミュニケーション力）
- ・職場体験に真摯な姿勢で臨む。（忍耐力）
- ・職場体験や講話から得られた成果や課題を自己の将来に結び付けて考える。（課題発見力）

##### 【内容】

中学1年生が7月に職場体験を実施し、9月にお世話になった事業所から働く大人の方々を招き、講話会を行いました。



### 【将来社会で生きていく時に必要な3つの力】

○コミュニケーション力

○忍耐力

○課題発見力

#### 我孫子第二小

6/14（水）

TSUNAGU160号  
「夢のとびらプロジェクト（小6）」

##### 【目標】

- ・仕事への興味関心を持ち、目標に向かって努力する。（忍耐力）
- ・将来の職業や仕事について考える。（課題発見力）

##### 【内容】

小学6年生が、様々な職業で働く人達を招き、講話会を実施しました。また、小中の教員が授業後の協議会を実施しました。



#### 高野山小

6/1（木）

TSUNAGU157号  
「友達やクラスのために、自分ができることは何だろう（小3）」

##### 【目標】

- ・友達と協力して活動する。（コミュニケーション力）
- ・仕事を最後までやり遂げる。（忍耐力）

##### 【内容】

小学3年生が、1学期の係活動の仕事をふり返って、よりよい活動の実施に向けて話し合いました。



#### 我孫子第三小 11/14（火） 6年生

#### 「夢アップ大作戦」

6年生の1クラスが近隣にあるケアセンターを訪問し、入居者の方々と交流しました。

子ども達は、英語を用いて「キラキラ星」や「美女と野獣」の歌を歌ったり、入居者の方々と協力して、真っ白な用紙に色鉛筆を使って国旗を描いたりする等、とても楽しいひと時を過ごしました。

これから、6年生の全ての学級が実施日や時間を変えて、同じ活動を実施します。

子ども達は利用者の方との交流を通して相手の立場を考えて行動や発言をする力を身に付け、働く人達の様子を間近で見たり触れ合ったりすることを通して働くことの意義等を考えることができたようです。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年11月15日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第183号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

久寺家中区の小中学校が Abi-キャリアを活用して繋がったうなー！

11/10（金）に根戸小学校で、Abi-キャリアを活用した授業を実施しました。今回は、過去に久寺家中区の小学校で実施したAbi-キャリアの学習内容との繋がりを意識してご紹介します。

確かな学力を身に付け、夢を持ちチャレンジする子ども

久寺家中学校 10/13（金） 「比例と反比例（中1）」 TSUNAGU177号

【目標】

- ・協力して問題を解き、考え方や解き方を相手に伝えることができる。（コミュニケーション力）
- ・日常生活に潜む比例・反比例を見つけ利用する力をつける。（課題発見力）

【内容】

中学1年生が、「比例と反比例」の授業を行いました。生徒達は、「紙の束の枚数を全て数えずに知るにはどうしたらよいだろう」という課題に対し、グループ単位で話し合っって考えました。



【将来社会で生きていく時に必要な3つの力】

- コミュニケーション力
- 忍耐力
- 課題発見力

根戸小学校

10/20（金）「夢のとびらプロジェクト（小6）」【高学年】 TSUNAGU179号

【目標】

- ・仕事への意欲・関心を高め、将来の職業や仕事について考える力をつける。（課題発見力）

【内容】

小学6年生が、NECグリーンロケッツからプロラグビー選手を招いて、講話会を行いました。子ども達にとって、自分達の将来について考えるきっかけとなりました。



9/22（金）「ごみの処理と利用（小4）」【中学年】 TSUNAGU175号

【目標】

- ・友達と互いに関わりながら共通の課題を考えることの良さを感じ、コミュニケーション力を高める。（コミュニケーション力）
- ・私たちの暮らしや安全を守るために、様々な職種があることを知り、仕事についての関心を高める。（課題発見力）

【内容】

小学4年生が、社会科の「ごみの処理と利用」の学習を、はたらく人達や仕事の観点で、キャリア教育のねらいと結びつけて実施しました。



11/10（金）「町大すき（小2）」【低学年】

小学2年生が、生活科の「町大すき」の学習をおこないました。子ども達はこれまでに「町たんけん」を実施し、自分達の地域のことを調べたり実際に見て新たな気づきを得たりし、その内容を模造紙や画用紙等に分かりやすくまとめました。

キャリア教育の目標の「コミュニケーション力」を育むことをねらいとし、子ども達は「町のすてき」を友達に伝えるために、効果的な伝え方を工夫して発表しました。聞き手は、発表をよく聞き、友達の発表の良かったところを伝えたり、改善点をアドバイスしたりしました。



並木小学校 9/5（火）

TSUNAGU172号

「友達やクラスのために、自分ができることは何だろう（小3）」

【目標】

- ・友達と協力して活動し、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを伝えたりする力をつける。（コミュニケーション力）
- ・仕事を最後までやり遂げる。（忍耐力）
- ・工夫できるところ等を自分達で見つける。（課題発見力）

【内容】

小学3年生が、1学期の係活動の仕事をつり返って、よりよい活動の実施に向けて話し合い、2学期の係活動を決定しました。





# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

平成29年11月10日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第182号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 湖北中区の小中学校が Abi-キャリアを活用して繋がったうなー！

11/7(火)に新木小学校で、キャリア教育に関する授業を実施しました。また、授業の様子は、同じ中学校区の小中学校の教務主任が来校して参観し、授業後には協議会を実施して見識を深めました。今回は、過去に湖北中区の小学校で実施した Abi-キャリアの学習内容との繋がりを意識してご紹介します。

### 確かな学力を身に付け、夢を持ちチャレンジする子ども

湖北中学校 TSUNAGU166号  
「夢にかける橋(道徳・中3)」 7/12(水)

#### 【目標】

・自らを見つめ直し、価値のある生き方を求めて自分の人生を切り開こうとする態度を育てる。

#### 【子ども達の感想の一部】

○夢を曖昧な考えで捨てることなく、実現するために必要なことを考え勉強することが大切と思いました。

「人はなぜはたらくのか：職場体験事前学習(総合・中2)」 7/10(月)

#### 【目標】

・働くことの意義について深く考え、自己の将来に結び付けて考える力をつける。

・働くことの意義について、友達と話し合い考える力をつける。

#### 【子ども達の感想の一部】

○好きなことを仕事に選び、人のために働くことで、達成感が得られると思いました。



### 【将来社会で生きていく時に必要な3つの力】

○コミュニケーション力

○忍耐力

○課題発見力

新木小学校 11/7(火)  
「夢・仕事・自分 未来花を咲かせよう(小6)」

小学6年生が、11月下旬に実施する職業人を招いての講話会に向けての事前学習を行いました。

講話会に招く予定の方々、「介護士」「市役所職員」「スポーツ用品店員」「旅行代理店職員」「和菓子職人」「スーパーマーケット店員」等、8人です。講話会では、全ての職業について話を聴くことができないため、事前に職業についてグループごとにわかれて調べ学習を行い、調べた内容について発表会をしました。

発表者は、自分達が調べた職業について、模造紙にまとめたり掲示物を作成したりクイズ形式の発表方法を用いたりして、わかりやすく発表しました。

聞き手は、友達が発表した内容を真剣に聴いたり必要と判断した内容をノートにメモをしたり発表に対して感想を言ったりして、様々な職業について見識を深めました。

### 子ども達の感想と参観した教員の感想を紹介します！

○公務員の仕事には、警察官や消防士や教師等の種類があり、どの職種の人達も市民のことを考えて働いてくれています。(児童)

○グラフを使ったり、クイズ形式でみんなに問いかけたりしていたグループの発表がわかりやすく感じました。(児童)

○中学校で職場体験学習を行います。小学校の段階で、様々な職業に興味を持ち、しっかりと調べる学習をしていることが、中学校の学習に生きてくると思いました。(中教員)



湖北小学校 9/4(月)  
TSUNAGU172号  
「友達やクラスのために、自分ができることは何だろう(小3)」

#### 【目標】

・友達と協力して活動し、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを伝えたりする力をつける。

・仕事を最後までやり遂げる力をつける。

・工夫できるところ等を自分達で見つける。

#### 【子ども達の感想の一部】

○係活動は、自分ができることを増やしたり、できなかつたことをするために必要だと思いました。

教員の相互参観・共通理解・協力





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年10月26日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第181号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

今年度3回目の小学6年生の布佐中登校を実施したぜー！

10/24（火）に布佐中学校区で、小学6年生の布佐中登校を実施しました。

この取り組みは、昨年度から布佐中学校区の小中学校で始まり、今年度は年間計画に沿って計画的に実施しています。

今回は、「中学校の先生が行う体育の授業」と「部活動見学」の2本立てで実施しました。特に、体育の授業については、市内の小中学校の中でも初めての取り組みです。

体育の授業の様子を中心にご紹介します。

布佐中の保健体育科の教員が小学6年生に体育の授業を行いました！

布佐小と布佐南小の6年生が布佐中に登校し、理科室と中学2年生の教室に集合しました。そこに荷物を置き運動のできる服装に整えると、男子は校庭へ女子は体育館へ向かいました。

中学校の体育の授業には、新しい発見がたくさん！

男子児童には校庭で布佐中の男性教員が、女子児童には布佐中の女性教員が、体育の授業を実施しました。

まず、子ども達は、整列の仕方や回れ右や右向け右等の仕方や準備運動の仕方等、布佐中学校の体育の授業の基本を教わりました。

次に、友達と協力しながら体を動かしたりほぐしたりする運動や、笛の合図で仲間をつくったり走ったりする運動等を行いました。

そして、集団走や持久走等を行い、子ども達は汗を流しました。

子ども達の感想の一部を紹介します！

○小学校の体育は、男女一緒に行いますが、中学校の体育は男女に分かれて行いました。また、整列の仕方も、小学校と中学校では異なりました。小学校では縦に長く並んでいますが、中学校では横に長く並びました。このような違いが、とても新鮮でした。

○中学校の体育は、小学校の体育よりも声を大きくだしたり、てきぱきと行動したりする必要があることがわかりました。また、座ったり移動したりする時に、一斉に掛け声をかけて行うことも知り、うれしかったです。

○中学校の先生がわかりやすく丁寧に教えてくれて安心しました。



体育の授業の中には、その学校で定められている「学習のきまり」や「生活のきまり」等、学校生活の基本が詰まっています。

中学校の体育の授業を小学生が受けることによって、進学する中学校の雰囲気や中学校の教員の様子等を知るだけではなく、中学校生活の基本を知ることにつながるようになりました。

このような中学校区の特徴ある取り組みを、地域の実態に合わせて行うことも、小中学校を滑らかに繋ぐ手段の1つうなー！

